



広報写真と歴史的公文書で見る 昭和の福岡市



福岡市は、今年、人口155万人を突破するとともに、住みやすさでもイギリスの雑誌「モノクル」で世界第7位に評価されるなど、都市として躍進を続けて来ましたが、その躍進の礎として、昭和における様々なまちづくりの取り組みがありました。

そこで、当館所蔵の福岡市の広報写真と歴史的公文書により、昭和の福岡市をふりかえってみます。

日 時

平成28年10月1日(土)～10月30日(日)

平日・土曜 10時～20時

日曜・祝日 10時～19時

休館日 3日、11日、17日、24日

場 所

福岡市総合図書館 2階 文書資料室

昭和35年
(1960)



(写真資料:39025)

西新病院診療開始 4/1

鉄筋コンクリート4階建て、病床数100床、新生児室、未熟児室、内科、外科等8科目を有する西新病院が新築移転し、診療を開始。

(写真は昭和39年頃)

昭和36年
(1961)



(写真資料:39020)

じんかい 東部塵芥処理場完成 10/17

西部塵芥処理場に続き東部塵芥処理場が大字蒲田に完成し、一日150トンの処理を開始。

昭和37年
(1962)



(写真資料:38008)

西保健所完成 7/9

室見 2 丁目に西保健所が完成。7/16 から業務を開始した。

(写真は昭和 38 年頃)

昭和38年
(1963)



(写真資料:38065)

博多駅開業 12/1

昭和33年に着手した博多駅土地区画整理事業の、新博多駅が西日本随一の駅として昭和38年12月開業した。

昭和39年
(1964)



(写真資料:39105)

東京オリンピック聖火リレー 9/16

東京オリンピック聖火は国内を4コースに分かれ東京までリレーされた。そのうちの1コース(九州・中国・近畿・北陸・信越・東京)が、天神にあった旧県庁舎前で聖火リレーされた。

昭和40年
(1965)



(写真資料:40037)

ギリシャ船からの荷揚げ 3/23

昭和27(1952)年から福岡市が博多港の港湾管理者となり、ふ頭の整備を進め、輸移出入が図られた。写真は、袋の荷物をベルトコンベヤーと人力で移動させている様子。



(写真資料:
150-11-1)

昭和41年
(1966)

消防庁舎完成 4/18

地下1階、地上4階の消防庁舎が住吉二丁目に完成、7月には救急医療器具センターも発足する。(現在消防庁舎は舞鶴3丁目に移転している)



(写真資料:41202)

昭和42年
(1967)

市役所電算機始動 4/10

事務処理の迅速化と市民サービスの向上のため、固定資産税や市県民税、国民健康保険料関係書類の電子計算機処理が開始された。

昭和43年
(1968)



青年センター開所 10/14

都市勤労青少年の学習といこいの場として、
青年センターが開所した。(外観は昭和47
年の写真。平成28年3月末閉所)

(写真資料: 165-17,47037)

昭和44年
(1969)



箱崎・香椎地区埋立起工式 10/7

箱崎地区は大型貨物船が接岸できる公共岸
壁、倉庫等のふ頭用地や運送業等流通関連
用地・工業用地を造成し、香椎地区は公営
住宅を中心に人口約3万人前後のニュータ
ウン用地とする埋立の起工式。

(写真資料: 44126)

昭和45年
(1970)



(写真資料:55-5-11)

別府大橋開通 7/30

国道202号線、国鉄筑肥線、一般道が交差する六本松・拾六町線別府橋西付近(別府大橋)の立体交差により混雑が解消された。

昭和46年
(1971)



(写真資料:46064-2)

少年文化会館開館 5/5

少年の夢を育て科学知識を高めるために、学習と実践の場を提供する施設として少年文化会館が舞鶴2丁目に開館。(後に名前に科学が追加されたが、平成28年3月閉館)

昭和47年
(1972)



(写真資料:55-1-18)

政令指定都市発足記念パレード 4/1

完成直後の福岡市民体育館での“指定都市発足記念式典”前に、市役所～東公園間で記念パレードが行われた。

昭和48年
(1973)



(写真資料:48090)

中学校給食開始 7/5

食習慣の育成や心身の健全な発達のため、学校給食センターで共同調理され、各学校へ運搬する共同調理方式で、中学校 18 校の給食が始まる。

昭和49年
(1974)

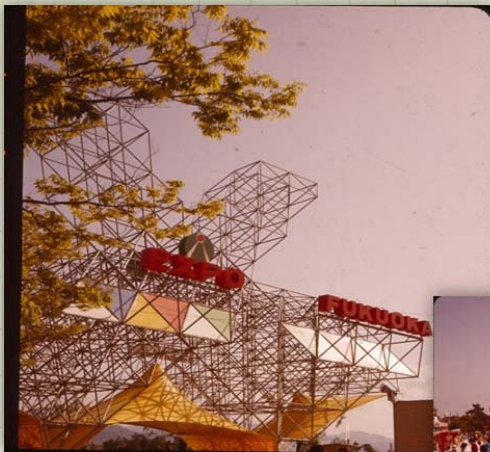


(写真資料:49204)

山陽新幹線乗入式 11/1

白と青のツートンカラー新幹線“ひかり号”16両編成が、昭和50年3月開通を目指し、博多駅へ乗入れ(試運転)、式典が行われた。

昭和50年
(1975)



(写真資料:112-6-4,112-6-5)

福岡大博覧会開催 3/15

山陽新幹線の博多乗入を記念して、大濠・舞鶴公園一帯で“福岡大博覧会”が開催された。

昭和51年
(1976)

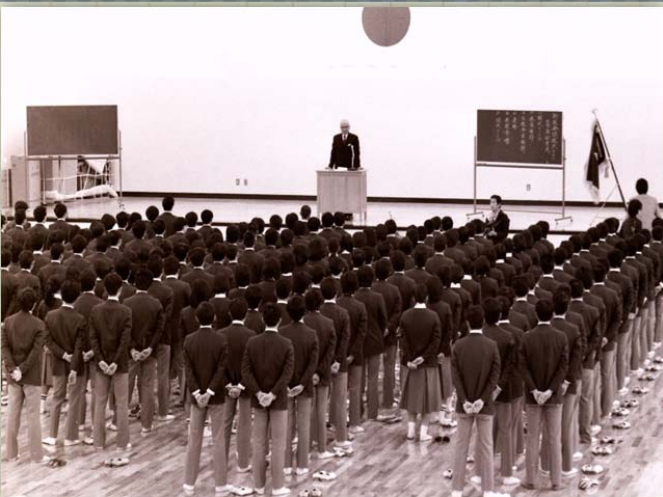


(図書館だより写真)

福岡市民図書館開館 5/30

福岡市民図書館が博多区築港本町の博多プレイランド跡に、“海に見える図書館”として開館。

昭和52年
(1977)



(写真資料:52068)

西陵高校新校舎始業(開校)式 1/8

西区拾六町に福岡西陵高校の新校舎が完成し、開校式を兼ねた始業式が行われた。
(全校生徒 270人)

昭和53年
(1978)



(写真資料:54-13-10,C53319)

福岡大渇水に伴う給水 5/20

異常少雨による渇水で制限給水(約287日)が始まり、給水車による給水やポリタンク配布が行われた。

わが国水道有史以来の大渇水といわれ、本市水行政に多大の教訓を残した。

昭和54年
(1979)



(写真資料:13-7-19)

広州市友好都市調印式 5/2

経済交流を中心に文化・スポーツ交流を図るため、福岡・広州友好都市締結の調印式が福岡市内で行われた。

昭和55年
(1980)



(写真資料:8-3-20)

広州市からパンダ来福 4/1

中国広州市との友好交流事業として、広州市からパンダ2頭(シャンシャン、パオリン)が来福。

動物園で2か月公開される。

昭和56年
(1981)



(写真資料:143-14-6)

地下鉄(室見～天神間)開業 7/26

7月26日午前5時32分、室見駅発の地下鉄が、天神に向けて出発。市民の足として、全国で8番目の市営地下鉄が室見～天神5.8キロで開業。



(写真資料:144-1-2)

昭和57年
(1982)

市庁舎議会棟完成 8/7

市庁舎建設の中で、行政棟に先立って議会棟が完成。(行政棟は昭和63年完成)



(写真資料:58310,58311)

昭和58年
(1983)

都市高速道路築港開通 10/6

都市高速道路の東浜～築港(1.5km)が開通。これにより、香椎～築港間(7.9km)が供用となった。

右下写真は築港ランプ。

昭和59年
(1984)



(写真資料:59615-1)

背振少年自然の家開所 7/23

野外活動を通して心身ともにたくましい青少年の育成をめざす施設として、背振少年自然の家が早良区板屋に開所。

昭和60年
(1985)



(写真資料:59648,60669)

海づり公園開園 4/23

釣り人口の増加に伴う紛争や釣り愛好者と漁業者との共存調和を図るため、西区大字小田に海づり公園が開園。海上沖にT字型鋼製釣り桟橋になっている。

昭和61年
(1986)

ニュージーランドオークランド市
姉妹都市調印式 6/24



(写真資料:114-1-11,61129)

博多港とオークランド港との姉妹港交流活動が進み、昭和61年にオークランド市が福岡市の4番目の姉妹都市となる調印がオークランド市議会議場で行われた。

右下写真は「友好契約書」。

昭和62年
(1987)

百道浜人工海浜整備 4/30



(写真資料:62284,39088)

都市機能整備と住宅地整備のため百道海岸を埋立て、人工海浜が整備された。平成元(1989)年には市制百周年を記念し、埋立地でアジア太平洋博覧会(よかトピア)が開催された。

右下写真は、昭和39年頃の百道の海水浴場風景。

昭和63年
(1988)



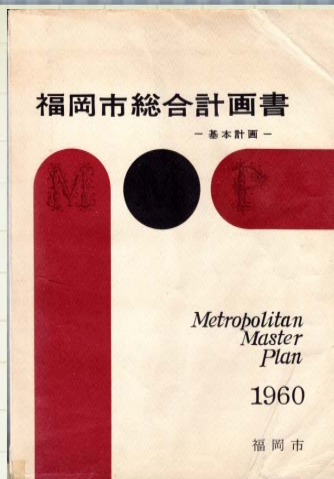
(写真資料:66-10-11)

住民基本台帳オンライン処理 開始 2/1

住所異動等住民票関係手続(住民基本台帳事務)のオンライン処理が開始された。
写真は端末操作を行う桑原市長。

※ 参考資料

- ・「福岡市政だより」 (S27～S63) 福岡市 発行
- ・「福岡市勢要覧」 (S30～S63) 福岡市 発行
- ・「市民グラフ」 (創刊号～151号) 福岡市 発行
- ・「福岡の歴史：市制九十周年記念」 福岡市 発行
- ・「福岡：市制施行80周年記念誌」 福岡市 発行

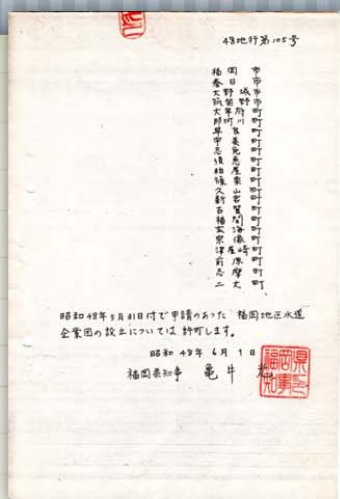


(公文書資料:H07-永-0241)

昭和 36 年
(1961)

福岡市総合計画策定 6/20

全国にさきがけて「福岡市総合計画」が策定されました。
昭和 31(1956)年以降、計画の準備として基礎的調査を行い、昭和 35 年に「福岡市総合計画に関する規則」を制定、並びに「総合計画審議会」を設置して総合計画を市政のバイブルとして制度化し、策定されました。



(公文書資料:H16-永-0225)

昭和 48 年
(1973)

福岡地区水道企業団設立許可通知 6/1

福岡地区水道企業団は福岡市と周辺市町村の水道用水確保として、筑後川を水源とする水道用水供給事業を行う団体です。
国の筑後川総合開発事業にかかる取水施設等の重複投資を避け、水の効率的利用等を図るため福岡地区4市 18 町が協議のうえ、企業団を設立しました。



(行政資料:リーフレット A-10-23)

昭和 62 年
(1987)

塩原地区土地区画整理事業完成記念 1月

南区役所や大橋駅を中心に、市南部における副都心機能を持つ市街地とするため、昭和 47(1972)年4月から塩原地区土地区画整理事業が行われました。

その完成記念として、昭和 62 年 1 月に塩原西公園が開園し、同園内に建立された「天と地との会話」の記念碑の除幕式が行われました。